

青森市指定管理者選定評価委員会審査結果

1 対象施設


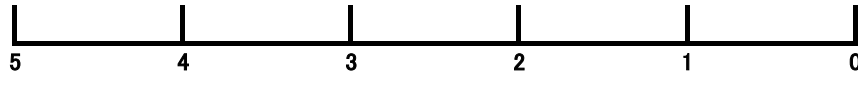
- (1) 施設名 青森市幸畑墓苑
(2) 所在地 青森市大字幸畑字阿部野163番地4

2 選定方法

(1) 選定基準及び配点

項目	選定基準	配点
1 管理運営全般について (35点)		
a. 管理運営方針	・管理運営方針が施設の設置目的に合致しているか ・市の求めに柔軟に対応できるか	10点
b. 同種の施設管理業務の実績	・同種の施設管理業務の実績があるか	5点
c. 地域や関係団体との連携	・交流、協力に対し積極的か ・ボランティアガイドの組織運営と育成に積極的か ・具体性があるか	10点
d. 財務の健全性	・団体の財務状況は良好か	10点
2 管理について (50点)		
a. 地元雇用への配慮	・市内在住者の雇用について配慮があるか	5点
b. 職員等の配置計画	・職員の適正配置がなされているか ・〇〇施設管理の経験者はいるか	5点
c. 職員の雇用・労働条件について	・職員の雇用・労働条件の向上に努めているか	5点
d. 職員等の研修計画	・職員の育成に方向性があるか ・職員研修の内容及び回数は適切か	5点
e. 施設管理計画	・管理保守点検業務が適切に行われているか	10点
f. 防犯、防災、緊急時の対応に関する取組	・的確な対応であるか ・事故防止に向けて取り組んでいるか	5点
g. 個人情報保護の取扱いに関する取組	・個人情報保護の職員への周知方法が適切か ・具体的な保護策を講じ、内容が適切か	5点
h. 環境保全、負荷低減への取組	・環境保全の職員への周知方法が適切か ・具体的な取組案があり、内容が適切か	5点
i. 福祉に関する取組	・障がい者等への対応は適切か ・障がい者の雇用に取り組んでいるか	5点
3 運営について (40点)		
a. 市民の平等な利用を確保するための方針	・平等な利用確保の方針は明確か	5点
b. 利用者等の要望等の把握と反映方法	・要望を運営に反映する工夫がされているか ・現実的な手法であるか	5点
c. サービス向上の対策	・利用者に対するサービス向上が見込まれるか ・苦情処理の体制は明確か ・定期的な自己評価を行うか	10点
d. 来館者を増加させるためのPR及びイベントの実施計画又は自主事業	・利用促進策は具体的であり、実現可能か(d-1:10点) ・自主事業の内容が具体的で、効果が見込めるか(d-2:10点)	20点
4 応募団体について (5点)		
本店の所在地	・市内に本店を有する者であるか (共同企業体の場合は構成員に市内に本店を有する者の割合)	5点
5 効率性について (30点)		
収支計画	・経費の額が妥当であるか ・経費の縮減等に係る方策が工夫されているか	30点

(2) 個別項目採点基準（※「1-d 財務の健全性」、「4 応募団体について」、「5 効率性について」を除く）

配点	
10点	<p>大変よい よい 普通 (標準的) やや不十分 不十分 全く不十分</p>  <p>10 8 6 4 2 0</p>
5点	<p>大変よい よい 普通 (標準的) やや不十分 不十分 全く不十分</p>  <p>5 4 3 2 1 0</p>

■ 「1-d 財務の健全性」の採点基準

① 当期利益（5点満点）（標準例）

区分	3年ともマイナス	2年間マイナス (1年間プラス)	1年間マイナス (2年間プラス)	3年ともプラス
点数	0	1	3	5

② 利益剰余金（5点満点）（標準例）

区分	3年ともマイナス	2年間マイナス (1年間プラス)	1年間マイナス (2年間プラス)	3年ともプラス
点数	0	1	3	5

指定期間中における指定管理団体の経営状況悪化等を理由とした辞退を未然に防ぎ、安定的に管理運営を行うことができる候補者を選定する観点から、直近の3事業年度に一度でも債務超過（貸借対照表において純資産の部の合計額がマイナス）の状態がある団体については応募資格がないものとします。

また、直近の事業年度において利益剰余金（当期利益の積み上げ）がマイナスの場合は、審査の結果失格とする場合があります。

■ 「5 効率性について」の採点基準

効率性についての点数 = {①基本点+経費縮減の配点（②経費縮減率×③1%あたりの配点）}
×④管理運営全体（効率性の項目を除いた全項目）の獲得点の割合

① 基本点 = (配点/2)

② 経費縮減率 = {1 - (指定管理料提案額 + 利用料金基準額) / (指定管理料基準額 + 利用料金基準額)} × 100

③ 1%あたりの配点 = {(配点/2) / 20}

④ 管理運営全体の獲得点の割合 = {管理運営全体の獲得点 / (管理運営全体の配点/2)}

<参考>基本点+経費縮減の配点について {①+ (②×③)}

経費縮減率 (%)	20	15	10	5	0
基本点+経費縮減の配点 {①+ (②×③)}	30	26.25	22.5	18.75	15

- ・経費縮減率は最大20%とします。
- ・1%縮減で、基本点に0.75点加算され、最大30点となります。
- ・得点に小数点以下の端数が生じた場合は小数点第3位を四捨五入します。
- ・指定管理料基準額は上限額であることから提案額が指定管理料基準額を上回る場合は失格となります。

○最低基準点について

【公募の場合】

最低基準点の設定について、業務の質を一定以上に維持する観点から、

- ・選定基準項目のうち「4 応募団体について」及び「5 効率性について」を除き、
- ・選定基準項目のうち「1-d 財務の健全性」における配点のうち50%に当たる点数と、
- ・それ以外の選定基準項目をすべて「普通」とした点数

の合計74点を最低基準点とし、応募者の合計得点がこれに満たない場合は失格となります。

(3) 青森市指定管理者選定評価委員会委員

委員長	白戸高史	企画部次長
副委員長	工藤拓実	総務部次長
委員	松本大吾	青森大学准教授
委員	西村晴夫	東北税理士会青森支部税理士
委員	木村久美子	市民部次長兼行政情報センター所長
委員	中村敦	農林水産部次長
委員	石村淳	浪岡振興部次長

(4) 青森市指定管理者選定評価委員会開催日 令和5年10月12日(木)

3 応募団体名 一般財団法人青森市文化観光振興財団

4 審査結果

項目	配点	候補者	摘要
1 管理運営全般について (35点)			
a. 管理運営方針	10点	7.43点	施設の設置目的に基づき、適正に管理運営していく提案あり
b. 同種の施設管理業務の実績	5点	5.00点	同施設の管理実績あり (H16～) モニタリング結果直近4年適正
c. 地域や関係団体との連携	10点	8.29点	地元町会、保育園、ボランティアガイド等と連携した取組をしていく提案あり
d. 財務の健全性	10点	8.00点	当期利益は令和3年度、令和4年度プラス 利益剰余金は直近3年プラス
2 管理について (50点)			
a. 地元雇用への配慮	5点	5.00点	青森市内在住者の雇用を今後も継続する提案あり (現雇用者3名すべて市内在住者)
b. 職員等の配置計画	5点	4.14点	管理責任者1名と補佐1名の2名配置条件に対し3名を配置していく提案あり
c. 職員の雇用・労働条件について	5点	4.00点	変形労働時間を活用し作業効率の向上を図る提案あり
d. 職員等の研修計画	5点	3.14点	ガイド時のマナーや接客マナー向上のための研修会等を実施する提案あり
e. 施設管理計画	10点	6.29点	高度な専門技術を要する設備等の維持管理について専門業者に委託するなどの提案あり
f. 防犯、防災、緊急時の対応に関する取組	5点	3.14点	年2回消防避難誘導訓練を実施、緊急時対応マニュアルによる指導をしていく提案あり
g. 個人情報保護の取扱いに関する取組	5点	3.14点	個人情報の外部持ち出し禁止などの対応を徹底するなどの提案あり
h. 環境保全、負荷低減への取組	5点	3.29点	ゴミ分別によるリサイクルやペーパーレス化に努めていく提案あり
i. 福祉に関する取組	5点	3.57点	法人として現在雇用している3名の障がい者は今後も継続雇用を予定 (法定雇用率2.3%以上 雇用率3.3%) 施設として職員の欠員補充の際は適切に対応する提案あり 車いす貸出や車いす利用者の同行補助を行っていく提案あり
3 運営について (40点)			
a. 市民の平等な利用を確保するための方針	5点	3.14点	多目的広場の利用が混雑する時期に苑内利用の平等性に配慮した調整を行う提案あり
b. 利用者等の要望等の把握と反映方法	5点	3.14点	アンケート用紙等を設置し利用者の意見要望の把握に努めていく提案あり
c. サービス向上の対策	10点	6.29点	八甲田周辺や市街地等の問合せに対応できるよう内容把握に努めていく提案あり
d. 来館者を増加させるためのPR及びイベントの実施計画又は自主事業	20点	13.15点	これまで実施してきた「春と秋の雪中行軍遭難史実探索バスツアー」など効果が見込める取組を継続するほか、未公開資料展示会など新たな取組の提案あり
4 応募団体について (5点)			
本店の所在地	5点	5.00点	市内本店
5 効率性について (30点)			
収支計画	30点	21.96点	
合計点	160点	117.11点	
最低基準点	—	90.15点	「4 応募団体について」及び「5 効率性について」を除く

5 指定管理者候補者

- (1) 名 称 一般財団法人青森市文化観光振興財団
- (2) 住 所 青森市大字雲谷字梨野木63番地
- (3) 代 表 者 理事長 木村 文人

6 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)

7 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた点数(90.15点)が最低基準点(74点)以上を獲得していること。